



**Hewlett Packard**  
Enterprise

## **HPE iLO 4 2.70 リリースノート**

部品番号: 684917-599  
発行: 2019 年 4 月  
版数: 1

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

## 商標

Microsoft® および Windows® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Java® および Oracle® は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

Google™ は、Google Inc. の商標です。

Google Chrome™ は、Google Inc. の商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

SD は SD-3C の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VMware® は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。

## 説明

iLO 4 は、HPE ProLiant サーバーおよび Synergy コンピュートモジュールのシステムボードに組み込まれたリモートサーバー管理プロセッサです。iLO では、リモートの場所からサーバーを監視および制御できます。iLO 管理は、サーバーをリモートで構成、更新、監視、および修復するための複数の方法を提供する強力なツールです。iLO (Standard) は、追加コストまたはライセンスなしで Hewlett Packard Enterprise サーバーに事前構成されています。

サーバー管理者の生産性を向上させる機能がライセンス付与されています。詳しくは、<http://www.hpe.com/info/ilo/docs> にある iLO ライセンスガイドを参照してください。

## アップデートの推奨事項

アップデートの推奨事項：推奨

## 後継情報

置き換えられるバージョン：2.62

## 製品

このリリースは、製品 HPEiLO 4 に適用されます。

## サポートされるデバイス

このバージョンの iLO 4 ファームウェアは、次のサーバーモデルでサポートされます。

### Gen9 サーバー

- ・ HPE ProLiant BL660c Gen9 サーバーブレード
- ・ HPE ProLiant BL460c Gen9 サーバーブレード
- ・ HPE ProLiant DL580 Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL560 Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL380 Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL360 Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL180 Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL160 Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL120 Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL80 Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL60 Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL20 Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML350 Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML150 Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML110 Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML30 Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL450 Gen9 サーバー

- ・ HPE ProLiant XL750f Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL740f Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL730f Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL250a Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL230a Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL230b Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL190r Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL170r Gen9 サーバー
- ・ HPE ProLiant WS460c Gen9 Graphics サーバーブレード
- ・ HPE ProLiant EC200a サーバー
- ・ HPE Synergy 480 Gen9 コンピュートモジュール
- ・ HPE Synergy 620 Gen9 コンピュートモジュール
- ・ HPE Synergy 660 Gen9 コンピュートモジュール
- ・ HPE Synergy 680 Gen9 コンピュートモジュール

#### **Gen8 サーバー**

- ・ HPE ProLiant BL660c Gen8 サーバーブレード
- ・ HPE ProLiant BL465c Gen8 サーバーブレード
- ・ HPE ProLiant BL460c Gen8 サーバーブレード
- ・ HPE ProLiant BL420c Gen8 サーバーブレード
- ・ HPE ProLiant DL580 Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL560 Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL385p Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL380p Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL380e Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL360p Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL360e Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL320e Gen8 v2 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL320e Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL160 Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML350e Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML350p Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML310e Gen8 v2 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML310e Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant SL4540 Gen8 サーバー

- ・ HPE ProLiant SL210t Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant SL270s Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant SL270s Gen8 SE サーバー
- ・ HPE ProLiant SL250s Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant SL230s Gen8 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL220a Gen8 v2 サーバー
- ・ HPE ProLiant MicroServer Gen8
- ・ HPE ProLiant WS460c Gen8 Graphics サーバーブレード

## オペレーティングシステム

このバージョンの iLO 4 ファームウェアは、次のオペレーティングシステムを搭載するサーバーで検証されました。

- ・ Microsoft Windows Server 2008  
このオペレーティングシステムは特定のプラットフォームでのみサポートされています。詳しくは、<http://www.hpe.com/info/OSsupport> でプラットフォームのオペレーティングシステムサポートリストをご覧ください。
- ・ Microsoft Windows Server 2012
- ・ Microsoft Windows Server 2012 Essentials
- ・ Microsoft Windows Server 2012 R2
- ・ Microsoft Windows Server 2016
- ・ Microsoft Windows Server 2019
- ・ Red Hat Enterprise Linux 6 (x86、AMD64/EM64T)
- ・ Red Hat Enterprise Linux 7
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 (x86、AMD64/EM64T)
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3、12 SP2
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 15
- ・ VMware vSphere 6.7、6.5 U1、6.5 U2、6.0 U3

## サポートされているブラウザ

iLO 4 は以下のブラウザの最新バージョンをサポートします。

### 推奨ブラウザ

- ・ Google Chrome モバイルおよびデスクトップ
- ・ Mozilla Firefox
- ・ Microsoft Edge

Chrome、Firefox、Edge が iLO 4 で最高のパフォーマンスを提供します。

## ブラウザ要件

iLO Web インターフェイスでは、以下の要件を満たすブラウザが必要です。

- ・ **JavaScript** - iLO Web インターフェイスは、クライアントサイド JavaScript を広範に使用します。  
この設定は、すべての Internet Explorer バージョンではデフォルトで無効です。この設定を確認または変更するには、iLO ユーザーガイドを参照してください。
- ・ **Cookies** - 一部の機能が正常に動作するために、Cookie を有効にする必要があります。
- ・ **ポップアップウィンドウ** - 一部の機能が正常に動作するために、ポップアップウィンドウを有効にする必要があります。ポップアップブロックが無効になっていることを確認してください。
- ・ **TLS** - iLO の Web インターフェイスにアクセスするには、ブラウザで TLS 1.0 以降を有効にする必要があります。

## 言語

このリリースでサポートされる言語：

- ・ 英語
- ・ 日本語
- ・ 簡体字中国語

## 機能強化

次の機能強化は iLO 4 2.70 の一部です。

- ・ HTML5 リモートコンソール
- ・ SNMP トラップ 18015 cpqNicAllLinksDown（ネットワークアダプター上のすべてのリンクがダウンしています）。
- ・ リモートコンソールの電源ボタン操作の確認ダイアログボックス。
- ・ 新しい Key Manager ソフトウェアのサポート：
  - SafeNet AT KeySecure G350v 8.6.0 以降
  - Gemalto SafeNet KeySecure 8.9.0 以降
- ・ Active Health System アップデート：
  - InfoSight に最適化された Active Health System のダウンロードのサポート。
  - iLO 不揮発性フラッシュメモリ消費データログ。
- ・ 組み込みリモートサポートアップデート：

- 組み込みリモートサポートのアップロードに使用される Active Health System ログファイル名を修正しました。
- Windows Server 2019 との互換性のために、組み込みリモートサポートサービスイベントを更新しました。
- ・ 証明書署名要求の都道府県ボックスと市区町村ボックスでのハイフンのサポート。

## 修正点

次の問題が iLO 4 2.70 で解決されました。

- ・ Linux システムまたは VMware システムのみ：空きシステムメモリと hpilo ドライバーの使用中に、OS 例外またはメモリ破損が発生する可能性があります。
- ・ iLO バックアップ構成の自動復元は正しく機能しません。
- ・ iLO 4 2.61 での Redfish の呼び出しで、電源装置の部品番号に無効な UTF-8 文字が含まれることがあります。
- ・ `ilorest -d serverlogs --selectlog=IML --clearlog rc 255` の REST 呼び出しが、成功するはずのときに失敗します。
- ・ セキュリティの修正：HPESBHF03917。

詳しくは、次の Web サイトを参照してください。<https://support.hpe.com/hpesc/public/home>

## 既知の問題

- ・ ファイバーチャネルポートは、構成されていても接続されていない場合、ステータスが劣化として表示されます。
- ・ ESXi ユーザーのみ：内蔵 SD カードから起動する場合には、Hewlett Packard Enterprise では、iLO ファームウェアをアップデートしたすぐ後でサーバーを再起動することを強く推奨します。
- ・ Utimaco Enterprise Secure Key Manager (ESKM) 4.0 以降を使用する場合は、更新されたコード署名証明書が含まれているソフトウェアアップデートを必ずインストールしてください。必要なアップデートをインストールしないと、ESKM は 2019 年 1 月 1 日後に再起動するとエラー状態になります。詳しくは、[ESKM のドキュメント](#)を参照してください。

## 前提条件

### iLO ユーティリティ

最適なパフォーマンスを実現するために、Hewlett Packard Enterprise では次のバージョンの iLO ユーティリティをおすすめします。

ユーティリティ	バージョン
RESTful インターフェイスツール (iLOREST)	2.3 以降
HPQLOCFG	5.2 以降
Lights-Out XML スクリプティングサンプルバンドル	5.10.0 以降

表は続く

ユーティリティ	バージョン
Windows 用 HPONCFG	5.3.0 以降
Linux 用 HPONCFG	5.4.0 以降
LOCFG.PL <sup>1</sup>	5.10.0 以降
HPLOMIG	5.2.0 以降

<sup>1</sup> Lights-Out XML スクリプティングサンプルバンドルで入手できます。

### ライセンス

一部の機能は、iLO ライセンスパッケージに含まれます。詳しくは、<http://www.hpe.com/info/ilo/docs> にある iLO ライセンスガイドを参照してください。

### セキュリティに関するベストプラクティス

セキュリティのベストプラクティスに関する最新情報は、Web サイト <http://www.hpe.com/info/ilo/docs> にある HPE Integrated Lights-Out セキュリティテクノロジー概要を参照してください。

## インストール手順

インストール手順については、次のドキュメントを参照してください。

HPEiLO 4 2.70 ユーザーガイド

部品番号 ; 684918-595

版数 : 1

## 関連情報

iLO 4 の最新ドキュメントは <http://www.hpe.com/info/ilo/docs> で入手できます。

## ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 ([docsfeedback@hpe.com](mailto:docsfeedback@hpe.com)) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。